

団体名 倉敷管弦楽団	代表者 田辺 幹夫	記載者 松江 雄二
所在地(市区町村名のみ) 倉敷市		
活動目的 演奏を通じて団員相互の親睦と演奏技術の向上を図り、同時に演奏活動を通じて地域社会の文化の向上に寄与する。		
団体の紹介 本楽団は、「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷にふさわしい熱気に満ちた楽団として活動を続けています。地域に根ざした音楽活動を地道に行うとともに、オペラ、ミュージカル、バレエなどの公演に参画しています。 さらに、プロの演奏家との共演や、県内のオーケストラを聴く機会の少ない地域や学校に出向いての演奏など、地域の文化向上に寄与するとともに、クラシック音楽だけでなく、現代曲やポピュラー音楽などのレパートリーを増やす努力も行っています。		
助成を受けての活動内容 1. 平成25年4月、当団役員会で、創立40周年記念演奏会でマーラー／交響曲第5番を演奏することを決定。 2. 平成25年7月より、同曲の練習開始。 3. 平成26年2月、指揮者小松長生氏の初練習。示唆を含む多くの指導をいただいた。 4. 同年4月から、本格的に練習に取り組んだ。全体合奏練習とともに、弦楽器、管楽器の団内トップ奏者による分奏も併せ実施、細部にわたり練習に取り組んだ。この間、小松氏には合計8回の指導をいただいた。 5. 平成26年6月29日(日)倉敷市民会館にて第40回定期演奏会を開催し、成果を披露し、好評を得た。 ドビュッシー／小組曲 マーラー／交響曲第5番		
助成を受けての成果 マーラーの交響曲第5番は、1時間を超える大作で、かつ、人生の葛藤、癒し、天国、喜びが表現されており、芸術的にも深い内容をもっている。また、演奏技術的にもレベルが高いため、長期にわたり、進歩が実感できないもどかしさがあった。小松氏の適切なお指導により団員の音楽に対する理解が深まり、徐々にではあるがマーラー音楽の真髄を感じられるようになった。本番では、熱のこもった満足できる演奏ができた。団員の多くが涙し、観客からも惜しみない拍手をいただいた。来客アンケートからも感動的であったとのコメントを複数いただいた。40周年の節目にふさわしい成果を挙げたと自負している。		
今後の活動の課題点 会場の収容人員1900名に対して、実際の入場者数828と約半分であった。出演者、来場者とも満足できる公演であったことから、もう少し多くの方に聴いていただきたいかった。演奏会の内容を吟味し、お客様にアピールできるコンサートを企画する。また、団員の集客努力に加え、広報機能を強化し、マスコミ、学校、他の音楽団体等への広報を積極的に行ってゆく。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) <a href="http://kurakan.org/kurakan-blog/">http://kurakan.org/kurakan-blog/</a>		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。  
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)  
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

The 40th Kurashiki Orchestra

# 倉敷管弦楽団

## 創立40周年記念 第40回定期演奏会

日時

2014. **6.29** 14時3分開演  
[SUN] (14時開場)

場所

倉敷市民会館



指揮：小松 長生



主催：倉敷管弦楽団      共催：倉敷市文化連盟  
後援：岡山県・倉敷市・RSK山陽放送・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・公益財団法人岡山県郷土文化財団  
公益財団法人倉敷市文化振興財団  
助成：倉敷市文化振興基金・公益財団法人マルセンススポーツ文化振興財団・公益財団法人福武文化振興財団



